

〔感染症発生動向調査企画委員会情報〕

12月報

インフルエンザ定点（小児科定点を含む）

インフルエンザ 報告数1件(前月比1.0、前年比0.0)と12月の6,509件をピークとして減少しています。6月以降ほとんど報告がなく、例年増加をみる12月になっても全く増加していません。

小児科定点

（全体傾向）

報告総数3,578件(前月比2.82、前年比0.32)で前月比は増加していますが前年比では1/3程度です。前月比で増加しているのは感染性胃腸炎増加が大きな要因です。前年比で大きく低下しているのはインフルエンザの流行が見られないことが要因です。

（疾患別傾向）

1. RSウイルス感染症 : 報告数46件(前月比3.5、前年同月比3.3)と例年見られた8~9月のピークが見られず、12月になり若干増加しています。1歳児を中心としてほぼ2歳以下の報告です。
2. 咽頭結膜熱 : 報告数103件(前月比2.1、前年比0.5)と、昨年よりは減少していますが例年、12月には増加傾向があります。1歳が71件の報告です。
3. A群溶連菌咽頭炎 : 報告数138件(前月比1.1、前年比0.2)です。例年増加する11~12月に増加傾向を認めません。
4. 感染性胃腸炎 : 報告数2,720件(前月比4.4、前年比1.0)と先月までは例年と比較してかなり少なく経過していましたが、12月に入り例年並みに増加しています。年齢では1歳を中心に幅広く報告されています。菊池(定点当たり150.4)、有明(同117.2)からの報告が多いです。
5. 水痘 : 報告数48件(前月比1.3、前年比0.6)と、2月から減少し、例年同様の推移でしたが12月の増加は例年より低いです。5-6歳を中心に幅広く報告されています。
6. 手足口病 : 報告数194件(前月比2.0、前年比0.6)と例年6~7月にみられるピークがなく経過しています。1-2歳を中心に多いようです。水俣(同14.0)菊池(同11.6)からの報告があります。
7. 伝染性紅斑 : 報告数3件(前月比0.8、前年比0.0)と、1月をピークに減少したまま続いています。
8. 突発性発疹 : 報告数158件(前月比1.1、前年比1.2)と、例年とほぼ同様に推移しています。発疹のピークは1歳にあります。
9. ヘルパンギーナ : 報告数16件(前月比0.9、前年比0.3)と例年同様7-8月のピークにから減少傾向です。
10. 流行性耳下腺炎 : 報告数8件(前月比0.6、前年比0.9)と昨年11月からの低水準が続いています。

眼科定点

1. 急性出血性結膜炎： 報告はありません。
2. 流行性角結膜炎： 報告数 25 件(前月比 1.7、前年同月比 0.5)
年齢別では 20～29 歳にピークがありますが、1 歳、40～49 歳にもやや多めの報告があります。熊本 22 件、菊池 2 件、有明 1 件の報告です。

STD 定点

※平成 25 年 1 月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が 13 医療機関から 16 医療機関に増えました。

1. 性器クラミジア感染症：
報告数 51 件(前月比 1.1、前年同月比 1.0)で、前月比微増、前年同月と同数でした。男女別は、男性に 33 件、女性 18 件と男性に多くみられました。年齢別では、男性は 20～50 歳に幅広く分布し、女性も 15～20 歳に集中していました。地区別は、熊本市が 41 件と圧倒的に多く、次いで宇城と有明に男女 4 件ずつ、御船、八代が男女 1 件ずつでした。
2. 性器ヘルペスウイルス感染症：
報告数 22 件(前月比 1.2、前年同月比 0.9)でした。男女別は、男性 9 件、女性 13 件で、女性に多くみられました。年齢別では、各世代にみられましたが、特に 30 代後半が 5 例と多く、男性は 30 代から 50 代、女性は 10 代から 20 代と 60 代以降に分布していました。地区別は、熊本が 9 件、菊池が 5 件、八代が 4 件、御船、宇城が 2 件でした。
3. 尖圭コンジローマ：
報告数は 6 件(前月比 0.5、前年同月比 0.9)で、前月比、前年同月比、いずれも減少していました。男女別では、3 件ずつで同数でした。年齢別では、20 代から 30 代に分布してありました。地区別は、熊本が 4 件、次いで宇城が 2 件でした。
4. 淋菌感染症：
報告数は 19 件(前月比 0.6、前年同月比 2.7)で、前月比は減少、前年同月比は増加していました。男女別では、男性 16 件、女性 3 件でした。年齢別では、男性が 20～50 歳と幅広く見られており、女性は 10 代から 20 代に集中しており、前回と同様の傾向でした。地区別は、熊本 13 件、次いで有明、宇城が各 2 件。菊池、八代が各 1 件でした。

基幹定点

(月報分)

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数 14 件(前月比 1.2、前年同月比 0.6)でした。8 件(67%)が 70 歳以上でした。乳幼児では 0 歳が 1 件です。人吉(5 件、定点あたり 5.0)が多くなっています。
2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：
報告数 4 件(前月比 1.3、前年同月比 1.3)でした。熊本 3 件、天草 1 件です。65 歳以上が 2 件、0-4 歳が 2 件です。
3. 薬剤耐性緑膿菌感染症：
報告数 0 件(前月比 ±0、前年同月比 ±0)でした。

(週報分)

1. 細菌性髄膜炎： 報告数 1 件(前月比 0.5、前年同月比 ±0)でした。熊本より 70 歳一で 1 件です。
2. 無菌性髄膜炎： 報告数 1 件(前月比 1.0、前年同月比 ±0)でした。熊本より 70 歳一で 1 件です。

3. マイコプラズマ肺炎： 報告数0件（前月比 ±0、前年同月比 ±0）でした。5月以降1件以下で鎮静化しています。
4. クラミジア肺炎： 報告数0件（前月比 ±0、前年同月比 ±0）でした。
5. 感染性胃腸炎（ロタウイルスによる）：
報告数0件（前月比 ±0、前年同月比 ±0）でした。

届け出対象感染症

1類感染症	： 報告はありませんでした。	
2類感染症	： 結核	25件
3類感染症	： 腸管出血性大腸菌感染症	3件
4類感染症	： 重症熱性血小板減少症候群	1件
	つつが虫病	6件
	レジオネラ症	5件
5類感染症	： アメーバ赤痢	1件
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	2件
	後天性免疫不全症候群	1件
	侵襲性肺炎球菌感染症	2件
	水痘（入院例）	1件
	梅毒	17件
	百日咳	4件
指定感染症	： 新型コロナウイルス感染症	944件